

学校だより

翔

空

No. 5 平成24年 5月 2日 (水)
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

「翔空」の由来

校舎のシンボル壁画である「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え、限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

◇ 郡山市の施策に基づく今後の動き ～復興元年・除染活動元年～

今年度は、明日の郡山を担う、かけがえない子どもたちのために、「今、できることから」を合い言葉に、今年はよくなるばかりだとの前向きな気持ちを持って、各種施策や事業を進めて参る所存です。(4月27日郡山市小中校長会にて)

- 1) 学校の除染 ＊以下のステップで！
 - ホットスポットの洗浄(5月に数回)
 - プールの除染(5月中に実施し、以後、屋外プールの実施について判断)
 - 各学校の要望に応じた除染作業
 - ※本校の要望していた中庭の芝生の除去はこれに該当します。(5月中か?)
- 2) 放射線に対する不安解消
 - 個人積算線量測定(バッジ) 5月下旬に開始
 - 給食センターに放射線測定器設置
 - 内部被ばく量を把握するホールボディカウンターでの測定 ＊7月上旬～東海村か?
- 3) 子どもの健康を守る対策
 - 屋外活動の制限
 - ※一応「3時間ルール解除」と文書では述べてあるが(3/23付け)、無制限ということではなく、1週間単位で制限を弾力的に取り扱う。(極端に屋外活動が増えたときには、他の曜日での活動のある程度制限する)
 - 放射線研修会や子どもの遊び場提供
 - 出合い・ふれあい親子体験の実施等
- 4) 仁寿会菊池医院(菊池医師)の助言
 - 子どもには、成長段階のその時でしかできない課題がある→5年後、10年後の子どもたちの将来を心配(特に、外に出さないことによるマイナスの影響の方が大きい～体力低下の恐れ)
- 5) 市の放射線アドバイザーからの助言
 - 「正しく怖がる」(科学的に正しい理解をもったなら、慎重になるべき点には、特段の配慮を持って対処する)
 - ※心配し過ぎによるマイナス面の方がむしろ大きい。

◎ 本校での対応について

【今までの経過措置】

- ・昨年度4月以降、市の施策により、学校の校庭の表土除去を実施した。
4月当初には、 $3.0 \mu\text{Sv/h}$ 以上の放射線量のあった校庭が、2度にわたる除去作業により $0.3 \sim 0.4 \mu\text{Sv/h}$ まで下がった。(現在でも、高いときには $0.4 \mu\text{Sv/h}$ を超える所はあるが、平均して $0.3 \mu\text{Sv/h}$ 台に落ち着いている)
- ・昨年度家庭訪問期間に職員を中心として校舎外(壁面など)の除染を実施した。
- ・翔空祭(10月下旬の文化祭)前には、外の模擬店のことも心配し、1ヶ月前から生徒昇降口及び保健室、被服室等の前を中心として、校長・用務員による除染を5・6回実施した。(昇降口前は、 $0.3 \mu\text{Sv/h}$ まで下がったが、保健室等の前は 0.8 位までであったので $0.4 \mu\text{Sv/h}$ 前後であった犬走りでも模擬店を実施することをPTA三役と協議し確認)
- ・プールの除染は、昨年度10月末に水抜きを実施した折と今年4月下旬に水抜きをした際に数名で実施した。(プール周辺は未だ線量値の高い所が散在する)

【今後の対応の方向性】

- ・市総務課の助言にもとづき、学校周辺の放射線量を下げる努力を行う。具体的には、市指名業者により中庭の芝生と低木をはぎ取った後に、「親子奉仕作業」の折などに、PTAの協力を得て「生徒は極力放射線を浴びない場所の作業を、保護者についても最低限の時間で無理のない雑草除去等の作業」を実施する予定である。
- ・これまで通り、生徒には放射線量の高い場所には近寄らせない、部活動等の屋外での活動については、放射線量を極力下げる工夫(ある程度の時間制限、活動場所の制限)を行います。特に、モニタリングポスト(文科省配置)の数値がこの所平均して $0.8 \mu\text{Sv/h}$ を超えているので市には早期実施を要望しました。

味のある話から...

【英語のことわざ】＊真理を突いている珠玉の言葉＊

上位集団の末尾に連なるくらいなら、下位集団のリーダーになる方がいい。つまり、「鶏口となるも牛後となるなかれ」を英語では次のように表現します。これが世の常だと中国の古い書物も教えてくれています。

→ "Better be the head of a dog than the tail of a lion."

直訳：ライオンのしっぽになるより犬の頭になった方がよい。

読み方：「ベター ビー ザ ヘッド オブ ア ドッグ ザン ザ テイル オブ ア ライオン」



